

## 生命に関する倫理委員会 議事摘録

日時 平成31年2月25日(月) 17:00~17:25  
場所 大学本館 3階 第1会議室  
出席 中島、中村、鷹野、井田、山本、益守、西原、北村、岸川、渡邊  
陪席 麻生、永石(産学官連携推進室)

### 【審議事項】(3件)

#### 1. 研究番号 385

標 題 原発性中枢神経リンパ腫の病態解明及び疾患概念の検討  
申 請 者 病理学講座 教授 杉田 保雄  
説 明 者 病理学講座 准教授 三好 寛明

審議に先立ち、申請内容につき説明者に概要説明を求めた。概要説明を踏まえ審議の結果、承認された。

#### 2. 研究番号 386

標 題 造血器疾患由来 iPS 細胞作製による病態解明および治療法探索  
申 請 者 内科学講座(血液・腫瘍内科部門) 教授 長藤 宏司  
説 明 者 内科学講座(血液・腫瘍内科部門) 助教 中村 剛之

審議に先立ち、申請内容につき説明者に概要説明を求めた。概要説明を踏まえ審議の結果、承認された。

#### 3. 研究番号 391

標 題 膵細胞診上澄み検体中の遊離DNAを用いたKRAS遺伝子変異の検出  
申 請 者 病理部 講師 内藤 嘉紀  
説 明 者 病理部 講師 内藤 嘉紀

審議に先立ち、申請内容につき説明者に概要説明を求めた。概要説明を踏まえ審議の結果、承認された。

### 〔修正後承認〕

1. 研究計画書 および HP 公開文書 研究対象者 について  
研究対象者が“膵組織(細胞)等の取得により”臨床診断で膵病変と診断された方であることがわかるよう、適宜修正すること。
2. 研究計画書 7-1. 具体的手順 について  
“なお、統計解析のために～本人に手渡す予定であり”について、“本人”が“解析担当者”を示すことが分かるよう修正すること。
3. 説明文書 3. 研究の背景と意義 について  
“膵癌の多くは「KRAS 遺伝子変異」という～(保険診療で保証されている検査)”の箇所について、研究対象者に分かりやすい表現に適宜修正すること。
4. 説明文書 12-1. 研究実施中の試料・情報の保管 について  
共同研究先および本学での保管期間について、その起点を明確にするため“研究終了後5年間”と明記すること。

### 【報告事項】(1件)

#### ① 迅速審査報告

事務部より、別紙に基づき、迅速審査の報告が行われた。